

令和7年度 第1回かかりつけ医等心の健康対応力向上研修会企画委員会 議事概要

1 日時 令和7年6月11日(水) 18:30～20:00

2 開催方法 オンライン (※配信場所：総合精神保健福祉センター 1階デイルーム)

3 参加者 (以下、参加者名簿順)

委員：研究機関(新里輔鷹)、北部地区医師会(古謝淳)、中部地区医師会(道下聡(兼城賢作先生代理))、南部地区医師会(城間直秀)、那覇市医師会(島袋盛洋)、浦添市医師会(山本和儀)、県地域保健課(嘉手納克子)、総合精神保健福祉センター(牧志倫) 欠席：沖縄県医師会(稲田隆司)

事務局：センター(平安山・町田・國場)

4 会次第 会議資料参照

(1) 委員紹介

(2) 企画委員長の選出及び副委員長の指名 → 委員長＝牧志所長 副委員長＝新里医師

(3) 報告

1) 「令和7年度かかりつけ医等心の健康対応力向上研修会(12/19)」の

令和6年度第2回企画委員会後 調整状況・進捗報告について(事務局)：別添資料参照

(4) 協議事項と検討結果

①テーマ	・「メンタルヘルスファーストエイド(MHFA)」をテーマとし、若者の自殺対策と絡めて、北海道大学大学院教授 加藤隆弘先生にご講話いただく。 ・演題は仮に『メンタルヘルスファーストエイドの地域での活用』としているが、“地域”は対象が広いため、かかりつけ医が関心をもつよう“医療機関での活用”などと絞ってもよいのではないか。 ・「メンタルヘルスファーストエイド(MHFA)」がイメージしやすいよう、副題(本の帯に記載の“心の応急処置マニュアル”など)を活用してはどうか。 ・(上記意見を踏まえ)対象や目的などをもとに講師と調整を行い、つけていただくとよいのではないか。
②プログラム構成案	・2部構成とし、1部を県の行政報告、2部を講演とする。 ・県行政報告の内容について、医療機関は、自殺総合対策計画を推進するにあたり要となる。かかりつけ医にも県の自殺総合対策、市町村への広がり等話していただきたい。その中でこども若者の自殺危機対応チームができたことも話してほしい。
③座長	・第1部／県行政報告 座長：沖縄県立総合精神保健福祉センター所長 牧志 倫 ・第2部／講演 座長(案)：琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座 教授 高江洲義和氏 …事務局より正式に依頼する。
④開催方法	・ハイブリッド開催(現地：沖縄県医師会館ホール、オンライン：Zoom配信(予定))
⑤「日本医師会生涯教育講座」カリキュラムコード	・カリキュラムコード「5：心理社会的アプローチ」として申請する。(1.5単位)
⑥沖縄県医師会報誌及び案内チラシへの広報コメント寄稿	・那覇市医師会 島袋盛洋委員より寄稿する。…投稿方法は事務局にて確認し、島袋委員へ依頼する。
⑦研修後アンケート	・自由記載欄を現行より大きく設け、理解度・満足度と併用する。 ・今後希望する研修テーマの項目について、難病の方や病気告知後のメンタルヘルス(「体の病気と心の問題」など)を追加する。
⑧研修の周知・案内	・例年どおり各地区医師会を通し周知。 ・小児科医会、小児保健協会、子どもの心専門医ネットワーク等、各団体や研修会、ミーティングの機会等を通し、小児科医にも積極的に参加していただけるよう広報する。 ・医師会非会員の医師への周知について、県医師会ホームページへの掲載時に非会員無料であることを記載。総合病院等へのチラシ掲示依頼を行う。 ・その他広報の工夫：・早めに周知する ・関心が持てる魅力的なチラシ作成をする ・申込締切後、再周知する。 ・参加予定者にリマインドメールをする 等
次年度企画委員会の日程	(令和7年12月19日研修会実施後) 第2回：令和8年1月21日(水) 18:30～20:00 オンライン予定